

講座 1

日口の懸け橋・船頭 **大黒屋光太夫**
～江戸時代にロシアを見た男

江戸時代に、遠州灘で嵐に遇って遭難しロシアに漂流、10年にわたる4万キロもの漂泊の旅を経て、日本に帰り着いた一人の船頭がいた。伊勢国白子（現在の三重県鹿市）の大黒屋光太夫。2度にわたりシベリヤを横断し、女帝エカテリーナ 2 世に謁見し、帰国を許された光太夫は、1792 年（寛政 4 年）、ロシア初の遣日使節アダム・ラクスマンとともに根室に来航。日口両国は交流の第一歩を踏み出した。

□期日／平成 28 年 4 月 13 日（水）10：30～12：00

□講師／相原秀起氏（北海道新聞編集委員）

□会場／花川北コミュニティセンター（石狩市花川北 3 条 2 丁目）



道新（2014年3月14日（土）夕刊）から転載

◆受講料／カレッジ会員 400 円・一般 500 円

◆申込締切／平成 28 年 3 月 30 日（水）※締切り後も随時受付をしています

◆定員／30 人（申込多数時抽選）

◆申込み・問合せ／いしかり市民カレッジ事務局（石狩市公民館内）

TEL/FAX：0133-74-2249

いしかり市民カレッジ

検索

メール：kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

